

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 2 区分

【発行日】令和 1 年 7 月 18 日 (2019.7.18)

【公表番号】特表 2018-518511 (P2018-518511A)

【公表日】平成 30 年 7 月 12 日 (2018.7.12)

【年通号数】公開・登録公報 2018-026

【出願番号】特願 2017-566839 (P2017-566839)

【国際特許分類】

A 6 1 K 31/7088 (2006.01)

A 6 1 K 48/00 (2006.01)

A 6 1 K 9/127 (2006.01)

A 6 1 P 37/02 (2006.01)

A 6 1 K 47/18 (2006.01)

A 6 1 K 47/28 (2006.01)

A 6 1 K 47/22 (2006.01)

A 6 1 K 45/00 (2006.01)

A 6 1 K 38/00 (2006.01)

A 6 1 K 39/00 (2006.01)

A 6 1 P 37/04 (2006.01)

A 6 1 P 43/00 (2006.01)

A 6 1 K 31/496 (2006.01)

A 6 1 P 3/00 (2006.01)

A 6 1 K 9/12 (2006.01)

【 F I 】

A 6 1 K 31/7088

A 6 1 K 48/00

A 6 1 K 9/127

A 6 1 P 37/02

A 6 1 K 47/18

A 6 1 K 47/28

A 6 1 K 47/22

A 6 1 K 45/00

A 6 1 K 38/00

A 6 1 K 39/00 H

A 6 1 P 37/04

A 6 1 P 43/00 1 2 1

A 6 1 K 31/496

A 6 1 P 3/00

A 6 1 K 9/12

【手続補正書】

【提出日】令和 1 年 6 月 14 日 (2019.6.14)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

免疫応答をレシピエント対象において誘発するための免疫モジュレーター組成物であって、

少なくとも1つの免疫賦活性CpGモチーフ、少なくとも1つの非免疫賦活性CpGモチーフを含む核酸配列と、カチオン性リポソームとを含み、

前記免疫モジュレーター組成物が前記対象に投与されることによって、先天性免疫応答に關与するシグナル伝達経路を活性化する免疫監視受容体を活性化する、

免疫モジュレーター組成物。

【請求項2】

前記シグナル伝達経路が、TLR9、TLR21、cGAS、IFI16、DDX41、DNA-PK、DAI、Mre11、LRRFIP1、AIM2、RNAポリメラーゼIII/RIG-I、STING、ASC、NFB、AP1、MAPK、IRF3及びそれらの組合せからなる群から選択されるシグナル伝達分子を含む、請求項1に記載の組成物。

【請求項3】

免疫応答を対象において刺激するための免疫モジュレーター組成物であって、

配列番号1の配列との少なくとも80%の配列相同性を有する核酸配列と、リポソーム送達ビヒクルとを含み、

前記免疫モジュレーター組成物が前記対象に投与されることによって、先天性免疫応答に關与するシグナル伝達経路を活性化する免疫監視受容体を活性化する、

免疫モジュレーター組成物。

【請求項4】

前記リポソーム送達ビヒクルが、多重膜小胞脂質及び押出し脂質からなる群から選択される脂質を含む、請求項3に記載の組成物。

【請求項5】

前記リポソーム送達ビヒクルが、N-[1-(2,3-ジオレイルオキシ)プロピル]-N,N,N-トリメチルアンモニウムクロリド(DOTMA)及びコレステロールと、N-[1-(2,3-ジオレイルオキシ)プロピル]-N,N,N-トリメチルアンモニウムクロリド(DOTAP)及びコレステロールと、1-[2-(オレイルオキシ)エチル]-2-オレイル-3-(2-ヒドロキシエチル)イミダゾリニウムクロリド(DOTIM)及びコレステロールと、ジメチルジオクタデシルアンモニウムブロミド(DDAB)及びコレステロールとからなる群から選択される脂質対を含む、請求項3に記載の組成物。

【請求項6】

投与が、静脈内投与、筋肉内投与、乳房内投与、皮内投与、腹腔内投与、皮下投与、噴霧による投与、エアロゾルによる投与、卵内投与、粘膜投与、経皮投与、浸漬による投与、経口投与、眼内投与、気管内投与及び鼻腔内投与からなる群から選択される、請求項3に記載の組成物。

【請求項7】

前記免疫モジュレーター組成物がさらに生物学的作用因子を含む、請求項3に記載の組成物。

【請求項8】

前記投与が、感染性因子にさらされる前である、請求項3に記載の組成物。

【請求項9】

前記投与が、感染性因子にさらされた後である、請求項3に記載の組成物。

【請求項10】

前記対象が、哺乳動物種、水産養殖種及び鳥類種からなる群から選択される、請求項3に記載の組成物。

【請求項11】

医薬的に許容され得るキャリアをさらに含む、請求項3に記載の組成物。

【請求項12】

免疫応答を対象において刺激するための免疫モジュレーター組成物であって、  
配列番号 4 の配列との少なくとも 80 % の配列相同性を有する核酸配列と、リボソーム  
送達ビヒクルとを含み、  
前記免疫モジュレーター組成物が前記対象に投与されることによって、先天性免疫応答  
に關与するシグナル伝達経路を活性化する免疫監視受容体を活性化する、  
免疫モジュレーター組成物。

【請求項 13】

前記リボソーム送達ビヒクルが、多重膜小胞脂質及び押出し脂質からなる群から選択される脂質を含む、請求項 12 に記載の組成物。

【請求項 14】

前記リボソーム送達ビヒクルが、N - [ 1 - ( 2 , 3 - ジオレイルオキシ ) プロピル ] - N , N , N - トリメチルアンモニウムクロリド ( DOTMA ) 及びコレステロールと、N - [ 1 - ( 2 , 3 - ジオレオイルオキシ ) プロピル ] - N , N , N - トリメチルアンモニウムクロリド ( DOTAP ) 及びコレステロールと、1 - [ 2 - ( オレオイルオキシ ) エチル ] - 2 - オレイル - 3 - ( 2 - ヒドロキシエチル ) イミダゾリニウムクロリド ( DOTIM ) 及びコレステロールと、ジメチルジオクタデシルアンモニウムブロミド ( DDA ) 及びコレステロールとからなる群から選択される脂質対を含む、請求項 12 に記載の組成物。

【請求項 15】

投与が、静脈内投与、筋肉内投与、乳房内投与、皮内投与、腹腔内投与、皮下投与、噴霧による投与、エアロゾルによる投与、卵内投与、粘膜投与、経皮投与、浸漬による投与、経口投与、眼内投与、気管内投与及び鼻腔内投与からなる群から選択される、請求項 12 に記載の組成物。

【請求項 16】

前記免疫モジュレーター組成物がさらに生物学的作用因子を含む、請求項 12 に記載の組成物。

【請求項 17】

前記生物学的作用因子が、免疫エンハンサータンパク質、免疫原、ワクチン、抗菌剤、及び、どのような組合せであれそれらの組合せからなる群から選択される、請求項 16 に記載の組成物。

【請求項 18】

前記投与が、感染性因子にさらされる前である、請求項 12 に記載の組成物。

【請求項 19】

前記投与が、感染性因子にさらされた後である、請求項 12 に記載の組成物。

【請求項 20】

前記対象が、哺乳動物種、水産養殖種及び鳥類種からなる群から選択される、請求項 12 に記載の組成物。

【請求項 21】

医薬的に許容され得るキャリアをさらに含む、請求項 12 に記載の組成物。

【請求項 22】

免疫応答をレシピエント対象において誘発するために S T I N G シグナル伝達経路を調節するための免疫モジュレーター組成物であって、  
少なくとも 1 つの免疫賦活性 CpG モチーフ、少なくとも 1 つの非免疫賦活性 CpG モチーフを含む核酸配列と、カチオン性リボソームとを含む、  
免疫モジュレーター組成物。

【請求項 23】

免疫応答を対象において調節するための免疫モジュレーター組成物であって、  
配列番号 4 の配列との少なくとも 80 % の配列相同性を有する核酸配列と、リボソーム  
送達ビヒクルとを含み、  
前記免疫モジュレーター組成物が前記対象に投与されることによって、免疫応答を調節

することに關与するシグナル伝達経路を活性化する免疫監視受容体を活性化する、免疫モジュレーター組成物。

【請求項 24】

前記免疫監視受容体が、先天性免疫応答を刺激することに關与するシグナル伝達経路を活性化する、請求項 23 に記載の組成物。

【請求項 25】

前記免疫監視受容体が、後天性免疫応答を刺激することに關与するシグナル伝達経路を活性化する、請求項 23 に記載の組成物。

【請求項 26】

前記免疫監視受容体が、炎症性免疫応答を抑制することに關与するシグナル伝達経路を活性化する、請求項 23 に記載の組成物。

【請求項 27】

ウシ呼吸器病と診断されるウシの体重増加を増大させるための方法であって、対象に、配列番号 1 との少なくとも 80 % の相同性を有する核酸配列と、脂質送達ビヒクルとを含む免疫モジュレーター組成物との組合せで抗菌剤を投与することを含み、前記組合せにより、体重増加が前記対象において増大する、方法。

【請求項 28】

前記抗菌剤がエンロフロキサシンである、請求項 27 に記載の方法。

【請求項 29】

ウシ呼吸器病と診断されるウシの体重増加を増大させるための方法であって、対象に、配列番号 4 との少なくとも 80 % の相同性を有する核酸配列と、脂質送達ビヒクルとを含む免疫モジュレーター組成物との組合せで抗菌剤を投与することを含み、前記組合せにより、体重増加が前記対象において増大する、方法。

【請求項 30】

前記抗菌剤がエンロフロキサシンである、請求項 27 に記載の方法。